

富山市のまちづくり活動における 学生参加のプロセスとその可能性

人文学部人文学科社会文化コース
人文地理学専攻4年 松田美佳



目次

- I はじめに
 - 1. 問題の背景と研究目的
 - 2. 研究方法
- II 対象の概要
- III まちづくり活動への学生の意識
- IV 学生のまちづくり活動への合意形成における課題
- V おわりに

I はじめに 1. 問題の背景と研究目的

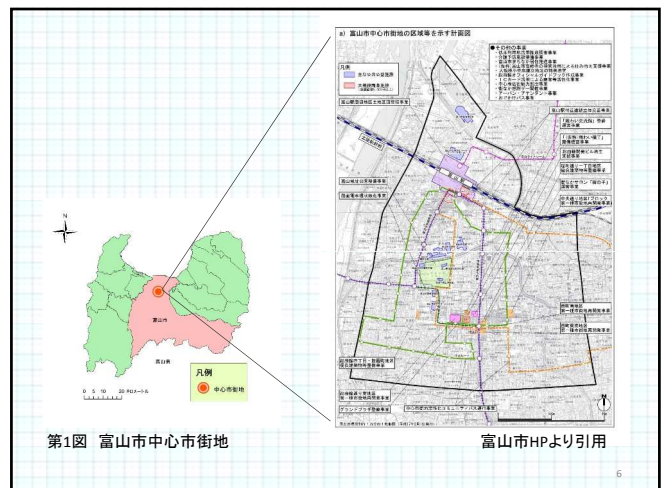
- 住民参加型のまちづくりの取り組みが増加
→住民参加の意思決定プロセスに焦点が当たる研究も多い
- 住民参加のまちづくりの事例は他所で活かさない(千葉ほか, 2002)
 - ①どの取り組みも特殊解に過ぎない
 - ②計画と管理運営が切り離されて議論される
- (大)学生も住民の一部
- 学生参加のまちづくりの多様な事例が存在

I はじめに 1. 問題の背景と研究目的

- まちづくりへの学生参加について学生と富山市やまちづくりとやま、まちづくりに関わる人々との「合意形成プロセス」を検討
- 学生参加のまちづくり活動継続のための知見を見出す
→4年間しかいない学生たちのとくみが、組織として一貫性を持たせられるのか(合意形成)、活動を継続できるのか、その可能性を検討する

I はじめに 2. 研究方法

- 調査対象事例:
地域: 富山市中心市街地
調査団体: 街なかメイクアップサポーター
- 調査方法
活動報告書等の文献調査
+
関係者へのヒアリング調査
 - ①組織内の合意形成プロセス
 - ②参加学生の持続的関与 に着目



II 対象の概要 街なかメイクアップサポーター

・中心市街地活性化事業の一環として、富山市、(株)まちづくりとやまが大学生との連携を模索 →2009年に結成

【街なかメイクアップサポーター】

活動期間:2009年4月～活動中(2016年2月)

活動内容:大学生の視点で、まちなかに人を呼び込む企画や情報発信など賑わい創出

活動目的:学生のチカラでまちを元気に

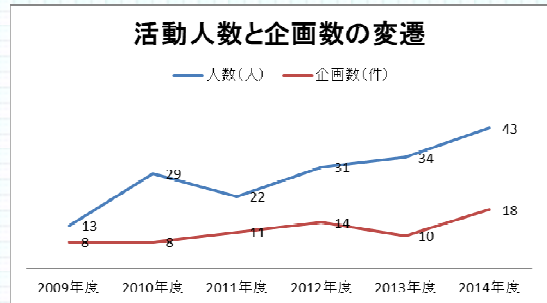
定例会議:毎週水曜17時～

富山まちなか研究室MAG.netにて

メンバー:現在は富山大学生中心 約43名



街なかメイクアップサポーターの活動の推移



株式会社まちづくりとやま提供資料より作成

第2図 街なかメイクアップサポーターの活動人数と企画数の推移

II 対象の概要 対象に対する調査の概要

聞き取り調査

- ・ねらい:まちに関わり組織活動をする意識をとらえる
- ・インタビュー調査の対象:4名のインフォーマント
 - ・団体発足期の活動経験者(2名)
→団体発足期の経験が学生活動に与える影響を把握できる
 - ・活動展開期以降の活動経験者(2名)
- ・インタビュー内容
 - ①会議の様子
 - ②団体とMAG.netとの関わり
 - ③学生以外との関わり
 - ④他団体との接触
 - ⑤団体のコンセプトの認識

聞き取り調査

第1表 ヒアリング調査インフォーマント一覧

	性別		出身		団体所属期間					
	男性	女性	富山市	富山市以外	団体発足期 2009	2010	2011	活動展開期 2012	2013	活動学生転換期 2014
学生A	●		●		●	●	●			
学生B	●			●		●	●	●	●	
学生C		●	●				●	●	●	●
学生D		●		●				●	●	●

ヒアリング調査より作成

聞き取り調査の結果(1)

・定例会議の様子

学生A(2010～12)・学生B(2010～13)

市、まちづくりとやまの担当者から説明を受ける
ことが中心で、発言はあまりない

お堅い

学生C(2011～14)・学生D(2012～現在)

行ったらなにか面白いことが起こる
会議途中で退席したりなど自由気ままな会議だった

ぐだぐだ!!

聞き取り調査の結果(2)

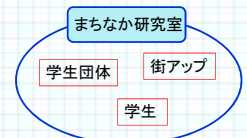
・団体とMAG.netとの関わり

学生A(2010～12)・学生B(2010～13)

学生同士のつながりを生む場
学生が発案したイベントを責任を問われず実現できる場
学生のための場であり、公共の場であるため、学生の活動は誰かに見られているという意識

学生C(2011～14)・学生D(2012～現在)

継続的に面白い大人が入り出す場
学生のやってみたいことをやらせてくれる場



聞き取り調査の結果(3)

• 学生以外との関わり

学生A(2010~12)・学生B(2010~13)

見えないところで、大人(研究室スタッフやまちづくり会社担当者ら)がサポートして学生の活動を支え成立させてくれていた

学生C(2011~14)・学生D(2012~現在)

働きながら仕事以外のことで生活を充実させている大人の存在を知った

団体の活動がどうにかないと安心できるのは、無理難題も聞き入れ背中を押してくれる大人しかいないから

13

聞き取り調査の結果(4)

• 他団体との接触と団体コンセプトの認識

学生A(2010~12)・学生B(2010~13)

自分たちの団体にはコンセプトがなく胸を張れなかった
学生が笑顔で主体的に活動するサークルのような団体を志向された枠の中で、学生のやりたいことが自由にできる団体

学生C(2011~14)・学生D(2012~現在)

他団体の活動を自らの団体の活動に反映させる意識は薄い
団体の方針について、過去の議事録などを参考にする

14

Ⅲ まちづくり活動への学生の意識 活動の意識の差異の要因：活動の発展段階 (1)

1. 団体発足期(2009~10)

- ・山王市、お絵かきプロジェクト
 - ・香川大との合同シンポジウム
 - ・活動に関する学生の調査
- 市、会社主導の学生活動
→ 学生の自主活動

2. 活動展開期(2011~2013)

- ・市、会社主導の活動継続
- ・MAG.netの設置(2011年)
- ・MAG.netでの自主活動の誕生
例)まちなか塾



15

活動の意識の差異の要因：活動の発展段階 (2)

3. 活動学生転換期(2014~現在)

- ・市、会社主導の活動継続
- ・外郭団体と連携した活動の増加
→何でも屋さんの状態になる
→自主活動に関する意識の希薄化、
自主活動の意思決定意識の欠如
- ・街なかメイクアップサポーターへの外からのまなざし
→街で便利に使える学生団体？

16

Ⅳ 考察： 学生による合意形成プロセスにおける課題

- 1 学生主体の活動展開のきっかけの差異
- 2 合意形成に向けたアプローチの方法
- 3 継続的実現に向けた身軽な組織体制

17

1. 学生主体の活動展開のきっかけの差異 ①発足期：

- 学生はまちづくり会社と協働する特殊性を理解
大人から説明だけされる会議の意味
大人からサポートされる理由もそれなりに把握
- 他地域の団体との接触
自分たちの活動にコンセプトがないことを痛感

↓

コンセプト、活動内容を考え直し、自主的に大人に働きかけ、学生がまちづくりに参加する意味についての合意形成
(富山市、まちづくりとやま、協力してくれる大人と積極的に意見交換)

18

1. 学生主体の活動展開のきっかけの差異

①発足期:

• MAG.net設置による自主企画の実施

学生が富山市の中心市街地活性化推進に乗っかることで、いろんなことができることを自覚

団体も、中心市街地活性化さえ理由がつけられれば何でもできると認識する



学生の企画が実現するという経験を共有し自信に繋がるきっかけ

②展開期、③転換期

中心市街地活性化の計画やまちづくり会社の意図を理解するチャンスが小さく、自ら意思決定する必要性を感じなくなった。

19

2. 学生によるまちづくり活動の合意形成に向けたアプローチの方法(1)

①発足期・展開期の学生

• 活動方針・活動内容の合意

活動内容や活動方針の合意形成プロセスに学生が積極的に関与

• 拠点施設の開設と学生企画の実現

学生立案の企画実現を経験することで、活動に対する自主性が向上

20

2. 学生によるまちづくり活動の合意形成に向けたアプローチの方法(2)

• 発足、拠点開設を経験したメンバー

活動展開期のコアメンバーとなる



団体内部だけでなく外部にコアメンバーが認識される



市、会社が合意形成を計る対象の学生が明確



スムーズな合意形成・意見共有が可能になる

21

3 継続性を踏まえた身軽な組織体制(未整備)

③転換期の学生

• 年間の活動計画は検討

• 団体の活動方針は検討していない } 目前の事象に振り回される

• 運営側主導の会議の経験を持たない

→活動の意味を理解できない

• 外部団体と連携した活動の増加

→活動の特殊性の理解が浅いま、幅の広い活動を展開している

• 団体の方針の共有なし

団体人数の増加と活動の広がり

団体内部のまとまり不在、外部との合意形成が困難

22

V終わりに: 学生による合意形成プロセスの継続

1 持続的な活動体制の創出

構成員による団体の活動内容の理解

市、会社、地域の人々とまちづくりの何を合意・共有してきたのかの理解
現在の活動と過去を接続させて理解する必要あり

2 特殊性を踏まえた人材育成

(i) まちづくり会社との合意形成プロセスを明示

→次年度活動方針検討時に団体発足の経緯などの勉強会の開催

→発足時からの活動方針などのデータを次年度活動方針検討時に反映

(ii) 毎年メンバーの入れ替わる学生参加のまちづくり活動団体

→毎年の活動反省を次年度に引き継ぐ必要性

3 関与していない学生への啓蒙

→団体外部とのまちづくり活動を連携、外部へのアピールをする

→団体の一活動として大学等での活動発表などの実施は新規メンバーの確保や団体の取り組みを振り返る貴重な機会になりうる

23

学生による 合意形成プロセス継続モデル

団体結成発足経緯等について運営側による説明会

↓
外部団体の視察やイベントに参加

↓
自団体のコンセプトや活動内容を検討

↓
自主イベントの計画、実施

↓
自主的な合意形成のコアメンバーや方法の確立

1
年間
5
年間

24

学生による合意形成プロセス 継続のための年間活動プラン

- 1月 運営側より街なかメイクアップサポーター発足の経緯等学ぶ機会の確保
- 2月 外部団体の視察やイベントに参加
- 3月 次年度の活動方針や活動内容を検討
- 4～11月 企画の実施など年間計画の実施
- 12月 年間の活動の振り返り

25

参考

川原晋・大木一・佐藤滋 2006. 計画策定期の住民参加状況と空間要素とが公園の継続的な住民運営に与える影響. 日本建築学会論文集 601:119-126.

倉原宗孝 1999. 市民的まちづくり学習としての住民参加のワークショップに関する考察. 日本建築学会計画系論文集 520:255-262.

千葉教代・篠沢健太・宮城俊作 2002. 石川河川公園における住民参加のプロセスとその可能性. ランドスケープ研究 66:753-758

山田裕喜・小松尚 2009. 学生主体のまちづくり活動の現状と課題: 全国の学生団体を対象としたアンケート分析から. 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1:11-12

富山まちなか研究室MAG.net(マグネット). 2015. 『一街アップの5年史 -街なかめいっくあっぷすと〜り〜』株式会社まちづくりとやま.

26

ご清聴ありがとうございました



27

資料編

インタビュー調査

28

	性別		出身		団体所属期間					
	男性	女性	富山市	富山市以外	団体発足期 2009	活動展開期 2010	2011	2012	2013	活動学生転換期 2014
学生A	●		●			●	●	●		
定例会議の様子	初期の会議室での会議は、会社の担当者から説明を受けて帰るだけだった。									
団体とまちなか研究室の関わり	学生が企画から実施まで行った企画の実現により、学生らが自主的に活動できるようになった。 学生らが雑談できるようになり、会議の後に食事に行くなど学生同士のつながりが生まれた。									
学生以外の人々との関わり	まちなか研究室が出来るまでは、会社の担当者らのみだった。 まちなか研究室が出来てからは、スタッフの方はじめ人とのつながりが増えた。 政策があってやるべきこともあるし、やりたいこともやれている。見えないところで、大人(スタッフや会社担当者ら)がサポートしてくれていた。									
他団体との接触	番川や岐阜の学生との交流を通して、自分たちがあまり活動できていないと感じ、さびしく情けなく感じた。 他団体と交流した際に、自分たちの団体にはコンセプトがなく胸を張れなかった。初期は、学生が笑顔で生き生きと主体的に活動できる、いわゆるサークルのような団体を目指していた。									

29

	性別		出身		団体所属期間					
	男性	女性	富山市	富山市以外	団体発足期 2009	活動展開期 2010	2011	2012	2013	活動学生転換期 2014
学生B	●			●		●	●	●	●	
定例会議の様子	会議中指名されたら、発言するのみ。 自ら発案したイベントの実現の場として活用できると会社の担当者から説明を受ける。									
団体とまちなか研究室の関わり	自分の好きな事を無責任にすることができる場所。 自分たちの場であり、公共の場である。団体の活動は誰かに見られているという意識。 スタッフや会社担当者らが、学生の活動を支え成立させてくれている。									
学生以外の人々との関わり	企画立案の相談を会社担当者に話し、形になるまで導いてくれた。									
他団体との接触	特になし									
団体のコンセプト	行政の担当者らにより決められたある程度の枠の中で学生のやりたいことが自由にできる団体。									

30

	性別		出身		団体所属期間					
	男性	女性	富山市	富山市以外	団体発足期	活動展開期			活動学生転換期	
					2009	2010	2011	2012	2013	2014
学生C	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
定例会議の様子	行ったら何か面白いことが起こる									
団体とまちなか研究室の関わり	継続的に面白い大人が出入り(グラッドプラザスタッフ)市役所の方含め面白い大人があることを知ることができた									
学生以外の人々との関わり	働きながら仕事以外のことで生活を充実させている大人の存在を知った									
他団体との接触	複数の他大学との交流があり、「学生とはこういうものか」と感じていた									
団体のコンセプト	行ったら何か面白いことがある団体									

	性別		出身		団体所属期間					
	男性	女性	富山市	富山市以外	団体発足期	活動展開期			活動学生転換期	
					2009	2010	2011	2012	2013	2014
学生D	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
定例会議の様子	会議の途中に先輩が電話で席を立つなど自由な雰囲気を感じた。立ち寄ると誰かしら先輩がいた。									
団体とまちなか研究室の関わり	学生のやりたいことが出来る場であり、結果が出ることでなく、やりたい事をやらせてくれる場。団体に入る際の橋渡しの役目をまちなか研究室スタッフが担っていた。									
学生以外の人々との関わり	「あれやろう、これやろう」と言ってくれる大人(顧問やまちなか研究室スタッフ)しかおらず、無理難題も聞いてくれた。団体の活動がどういかなると安心できるのは、無理難題も聞いてくれ背中を押してくれる大人がいるから。外部よりも富山に興味があった。団体が違えば同じことをやるにしてもやり方が違ってくるため参考程度だった。									
他団体との接触	過去の議事録などで団体の方針を確認し、活動の参考にしている。									
団体のコンセプト										

街なかメイクアップサポーター活動の変遷

街アップの活動 整理

1 団体発足期

第2表 街なかメイクアップサポーター活動表(以下3ページに渡り掲載)

年	イベント等活動	発表を介した外部との接触	外部団体連携活動
2009 (13)	5/31 山王市「街アップ緑日」 6/21 キャンドルサイト 6/20 お給かきプロジェクト ふるさとCM撮影 新メンバー募集準備	3/20 シンポジウム開催	7/4,5 セタビフェスタ参加 12/13 エコリンクイベント 1/10 エコリンク「街なかショップ編り
2010 (29)	6/1 山王市「まっちゃんアップ緑日」 9/28 お給かきプロジェクト 落書きパトロール 次年度活動計画検討 2011年開設「富山まちなか研究室」での企画立案	11/28 シンポジウム開催 2/26 香川大学開催シンポジウム参加	7/3,4 セタビフェスタ参加 活動に関する学生へのアンケート 11/14, 21 「未来ほへろ」参加 12/23 エコリンク企画

株式会社まちなつくりとやま提供資料により作成

年	イベント等活動	発表を介した外部との接触	外部団体連携活動
2011 (22)	メンバー募集 年間事業計画立案 6/1 山王市「こども神輿」 7/4 「まちなか塾」開始 8/8-10 「まちなか塾」夏休み企画 9/21 お給かきプロジェクト 新入生向けフリーペーパー作成 新メンバー募集準備	8/24 金沢まちなつくり学生会議と交流 11/26, 27 シンポジウム開催 富山大学地域連携推進機構合同主催 12/17 豊郷快織プロジェクトと交流	まちなか研究室の役割・名称など立案 7/2,3 セタビフェスタ参加
2012 (31)	活動 10/6,7 富山大学祭にてメンバー募集 11/24, 25 「未来ほへろ」 マップ「いこうまちなさんぽ」作成 新メンバー募集準備	JCOM会議にて事例発表 (富山大学交通政策課企画) ケーブルテレビ番組制作 まちなか研究室の役割企画 浴槽アップ作成 「市電でゴー!ゴー!まちなさんぽ」 (株式会社富山地方鉄道と連携) 9/15 「とやままちなかコレクション」 2012「まちなさんぽ」(JC企画)	11/12, 13 「未来ほへろ」参加 12/18 エコリンクと「まちなか塾」連携イベント
2013 (34)	メンバー募集 「新歓まちなつくり」 年間計画立案 6/1 山王市「こども神輿」 「おけけ屋敷企画」 「なかもんくん大量発生企画」 「まちなかお給かき」プロジェクト2013 11/23, 24 「未来ほへろ」 3/15 「ピクニックパーク」 (富山大学グラウンドプラザにて) 新メンバー募集準備	富山大学にてメンバー募集説明会 6/22 カターレパブリックビューイングにてブース出店 12/23 とやまタリエイティブロジェクト2013 INTER連携 「ベントホテルアート」 「セントラム裝飾」	厳格委員会参加 12/13 「サンタフェスタ」参加

2 活動展開期

3 活動学生転換期

年	イベント等活動	発表を介した外部との接触	外部団体連携活動
2014 (43)	活動学生転換期 新入生用リーフレット作成 新メンバー募集準備	富山大学にてメンバー募集説明会 6/22 カターレパブリックビューイングにてブース出店 12/23 とやまタリエイティブロジェクト2013 INTER連携 「ベントホテルアート」 「セントラム裝飾」	9/13 JCましろにて「まちなさんぽ」参加 9/26 おおききプロジェクト駅地下展示 9/27 「富山地下Do!大作戦」イベント参加 11/3 紙芝居イベント有志参加 11/23 学生合同学園祭M6.Fes参加 11/29 「サンタフェスタ」ブース準備参加 富山市環境政策課 エコかるた作成参加 12/5 「エコリンク×サンタフェスタ」関連セントラム裝飾 12/6 「サンタフェスタ」プレイベント参加 12/13 「サンタフェスタ」参加

株式会社まちなつくりとやま提供資料により作成